

平成26年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月29日

上場取引所 東

上場会社名 アクモス株式会社  
 コード番号 6888 URL <http://www.acmos.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営企画室長  
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月13日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 飯島 秀幸  
 (氏名) 中川 智章

TEL 03-5217-3121

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年6月期第1四半期の連結業績(平成25年7月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年6月期第1四半期	698	21.8	△68	—	△65	—	△61	—
25年6月期第1四半期	573	△11.0	△57	—	△54	—	△52	—

(注) 包括利益 26年6月期第1四半期 △65百万円 (—%) 25年6月期第1四半期 △58百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年6月期第1四半期	△6.31	—
25年6月期第1四半期	△5.40	—

(注) 当社は、平成25年7月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。そのため、1株当たり四半期純利益の金額は、前連結会計年度の期首に当該分割が行われたと仮定して算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	
26年6月期第1四半期	2,309	—	1,447	—	61.5
25年6月期	2,315	—	1,491	—	64.4

(参考) 自己資本 26年6月期第1四半期 1,421百万円 25年6月期 1,491百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年6月期	—	0.00	—	100.00	100.00
26年6月期	—	—	—	—	—
26年6月期(予想)	—	0.00	—	1.00	1.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成25年7月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。平成25年6月期については、当該分割前の実際の配当金の額を記載しております。

3. 平成26年6月期の連結業績予想(平成25年7月1日～平成26年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,500	31.7	80	—	80	—	50	—	5.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成25年7月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。第2四半期(累計)の予想は行っておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 有

(注)詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年6月期1Q	10,215,400 株	25年6月期	10,215,400 株
② 期末自己株式数	26年6月期1Q	515,900 株	25年6月期	515,900 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年6月期1Q	9,699,500 株	25年6月期1Q	9,699,500 株

(注)当社は、平成25年7月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。そのため、期末発行済株式数、期末自己株式数、期中平均株式数は、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続きは終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ(当社及び連結子会社)が判断したものであります。

#### (1)業績の状況

当第1四半期連結累計期間(自平成25年7月1日至平成25年9月30日)における我が国経済は、国外の景気持ち直しや国内消費の拡大傾向により緩やかな回復傾向がみられましたが、平成26年4月からの消費税率引き上げや、原油価格の上昇など景気に対するマイナス材料もあり、先行きは依然不安定な状態が続いております。当社の主要事業である情報技術事業においても、企業のシステム更新や設備投資の再開などにより緩やかな回復が見られておりますが、市場内の競合や顧客からの単価引き下げ要求もあり、厳しい事業環境が続いております。

このような事業環境の中、当社グループでは当連結会計年度からの3カ年における中期経営計画を策定いたしました。この3年間を再生から成長、創造への期間と位置づけ、3カ年でサービス価値の向上を図り、持続的・創造的イノベーションを可能とする事業基盤を構築するとともに、安定収益の確保を目指してまいります。

我が国の社会インフラシステムは老朽化による更新需要が高まっております。また、情報サービス市場構造における「所有」から「利用」へのシフトに伴うクラウドサービスの市場規模拡大や、急速に普及が進むスマートデバイスのビジネスユース市場の拡大が見込まれております。

当第1四半期連結累計期間では、これらの拡大が見込まれる市場を考慮しつつ、当社グループが強みを持つ分野を絞り、品質向上と人材育成による専門性の強化により受注拡大を図ってまいりました。また、前連結会計年度の平成25年6月1日に株式会社昭文社デジタルソリューションの事業の一部を吸収分割により取得し、事業を開始したA S ロカス株式会社(旧社名アクモス・アカウンティング株式会社)の業績が加わっております。当第1四半期連結累計期間より当社とA S ロカス株式会社との間で、人材交流を含め共同でスマートデバイスに関する製品開発を行い、業務における協力関係の強化も図っております。

当第1四半期連結累計期間の売上高はA S ロカス株式会社の実績が加わったことなどにより前第1四半期連結累計期間(自平成24年7月1日至平成24年9月30日)に比べ125百万円増加し698百万円(前第1四半期連結累計期間の売上高は573百万円、前年同四半期比21.8%増)となりましたが、A S ロカス株式会社は営業損失を計上したことなどから前年同四半期に対して損失は増加し、営業損失68百万円(前第1四半期連結累計期間は営業損失57百万円)、経常損失65百万円(前第1四半期連結累計期間は経常損失54百万円)、四半期純損失61百万円(前第1四半期連結累計期間は四半期純損失52百万円)となりました。

セグメント別の状況は以下のとおりです。

#### (ITソリューション事業)

当第1四半期連結累計期間の期首より、A S ロカス株式会社が前連結会計年度の平成25年6月1日に吸収分割により取得した事業の業績が含まれております。当第1四半期連結累計期間では、当社のシステムインテグレーションのノウハウとA S ロカス株式会社のGIS(注)ソリューションに関するノウハウを結集し、今後のスマートデバイスソリューションの展開を目指した開発を進めております。

当社において開発を行った通信指令システム(SYMPROBUS Fシリーズ)についてはCTI等を活用した特色を出して営業展開を図っております。受注に関しては苦戦しておりますが、スマートデバイスの開発提案を絡めて営業活動を展開いたしました。

A CMOSソーシングサービス株式会社では、強みである医療システム分野を中心に社員教育を進め、業務知識の取得と技術力向上に努めました。また、営業面では国公立病院の入札とともに私立病院への営業活動も強化いたしました。

当第1四半期連結累計期間の売上高はA S ロカス株式会社が加わった要因により619百万円(前第1四半期連結累計期間の売上高は513百万円、前年同四半期比20.5%増)、営業損失62百万円(前第1四半期連結累計期間は営業損失39百万円)となっております。

なお、平成25年7月1日付で、A S ロカス株式会社の発行済株式総数の19%を株式会社昭文社に譲渡

いたしました。A S ロカス株式会社では株式会社昭文社のWEB運用業務を受託しており、また株式会社昭文社と販売代理店契約を締結していることから、引き続き営業面での関係強化を図ってまいります。

(注) GIS:地理情報システム(Geographic Information System)

(ITサービス事業)

株式会社エクスカルは、無線LAN機器の検証サービスを中心として、新しい規格であるECHONET LiteやUSB3.0の規格に関連する試験機関としての体制を整備し、事業展開を図りました。なお、株式会社エクスカルは前連結会計年度の平成25年6月26日に100%子会社となったことから、前連結会計年度末で持分法適用関連会社から連結子会社となっております。

株式会社ジイズスタッフは、ひとつの業務から他のお客様の業務へ標準化が容易な事務局代行事業のパッケージ化や、アンケート事業の業務プロセスの整理・適正化を進めました。また、引き続き人材採用を行い、業務担当者の増強と営業専任担当者の確保に努めました。

当第1四半期連結累計期間の売上高は101百万円(前第1四半期連結累計期間の売上高は84百万円、前年同四半期比20.4%増)、営業利益6百万円(前第1四半期連結累計期間は営業損失5百万円)となっております。

## (2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

総資産は前連結会計年度末に比べ6百万円減少し、2,309百万円となりました。これは仕掛品が62百万円、商品が33百万円増加した一方、現金及び預金が69百万円、未収入金が29百万円減少したことが主な要因であります。

(負債)

負債は前連結会計年度末に比べ37百万円増加し、861百万円となりました。これは、未払費用が86百万円減少した一方、賞与引当金が54百万円、長期借入金が57百万円増加したことが主な要因であります。

(純資産)

純資産は前連結会計年度末に比べ44百万円減少し、1,447百万円となりました。これはA S ロカス株式会社の株式売却によって発生した少数株主持分26百万円の増加及び四半期純損失61百万円並びに配当金9百万円が主な要因であります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年8月2日付の決算短信で発表いたしました平成26年6月期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

前連結会計年度まで、製造原価要員の労務費のうち直接製造に携わらなかった部分の費用については販売費及び一般管理費として計上しておりましたが、当第1四半期連結累計期間より当該費用を売上原価として計上しております。これは、稼働率による製造原価の変動を排除し、売上高と売上原価の対応に関して経営成績の実態をより適正に表示するため変更するものであります。

これにより、当第1四半期連結累計期間の売上原価が35,368千円増加し、売上総利益及び販売費及び一般管理費がそれぞれ35,368千円減少しております。

なお、当変更について遡及適用しており、前第1四半期連結累計期間については遡及適用後の四半期連結財務諸表となっております。これにより、前第1四半期連結累計期間の売上原価が58,002千円増加し、売上総利益及び販売費及び一般管理費がそれぞれ58,002千円減少しております。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,161,903	1,092,219
受取手形及び売掛金	414,718	415,313
商品	1,878	35,833
仕掛品	35,558	97,654
原材料及び貯蔵品	434	226
前払費用	44,068	45,650
短期貸付金	2,916	2,938
未収入金	35,262	5,623
繰延税金資産	15,583	16,667
その他	3,223	8,254
貸倒引当金	△2,525	△2,202
流動資産合計	1,713,021	1,718,180
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	233,436	234,672
減価償却累計額	△123,416	△125,271
建物及び構築物(純額)	110,019	109,400
工具、器具及び備品	132,576	137,968
減価償却累計額	△61,465	△66,829
工具、器具及び備品(純額)	71,110	71,138
土地	68,836	68,836
有形固定資産合計	249,966	249,375
無形固定資産		
のれん	196,477	181,536
ソフトウェア	80,709	80,980
ソフトウェア仮勘定	—	2,631
電話加入権	1,481	1,481
無形固定資産合計	278,668	266,629
投資その他の資産		
投資有価証券	25,842	26,452
敷金及び保証金	41,179	41,214
長期貸付金	6,891	6,148
その他	297	1,344
貸倒引当金	△6	△6
投資その他の資産合計	74,204	75,153
固定資産合計	602,840	591,159
資産合計	2,315,861	2,309,339

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	68,513	103,462
短期借入金	80,000	80,000
1年内返済予定の長期借入金	38,750	63,348
預り金	25,405	14,622
未払金	108,062	90,958
未払費用	211,826	125,626
未払法人税等	10,705	9,228
賞与引当金	17,038	71,757
前受金	49,601	34,456
その他	10,017	8,715
流動負債合計	619,920	602,175
固定負債		
長期借入金	80,000	137,344
長期前受金	8,478	7,266
退職給付引当金	66,384	67,951
繰延税金負債	27,151	27,262
その他	21,949	19,774
固定負債合計	203,964	259,598
負債合計	823,885	861,773
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	693,250	693,250
資本剰余金	1,176,282	1,176,282
利益剰余金	△330,302	△401,249
自己株式	△53,911	△53,911
株主資本合計	1,485,318	1,414,371
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,657	6,857
その他の包括利益累計額合計	6,657	6,857
少数株主持分	—	26,337
純資産合計	1,491,976	1,447,566
負債純資産合計	2,315,861	2,309,339

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年9月30日)
売上高	573,741	698,785
売上原価	447,211	538,265
売上総利益	126,529	160,520
販売費及び一般管理費	183,535	229,006
営業損失(△)	△57,006	△68,485
営業外収益		
受取利息及び配当金	267	273
保険配当金	3,089	3,334
その他	604	519
営業外収益合計	3,961	4,127
営業外費用		
支払利息	1,103	1,168
その他	4	26
営業外費用合計	1,108	1,194
経常損失(△)	△54,152	△65,552
特別利益		
子会社株式売却益	—	4,562
特別利益合計	—	4,562
特別損失		
固定資産除却損	—	8
特別損失合計	—	8
税金等調整前四半期純損失(△)	△54,152	△60,998
法人税、住民税及び事業税	1,677	5,683
法人税等調整額	2,082	△1,066
法人税等合計	3,760	4,616
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△57,912	△65,615
少数株主損失(△)	△5,548	△4,367
四半期純損失(△)	△52,363	△61,247

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△57,912	△65,615
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,028	199
その他の包括利益合計	△1,028	199
四半期包括利益	△58,940	△65,416
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△53,391	△61,048
少数株主に係る四半期包括利益	△5,548	△4,367

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	ITソリューション事業	ITサービス事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	489,606	84,134	573,741	—	573,741
セグメント間の内部売上高 又は振替高	24,364	—	24,364	△24,364	—
計	513,970	84,134	598,105	△24,364	573,741
セグメント損失(△)	△39,911	△5,885	△45,797	△11,208	△57,006

(注) セグメント損失(△)の調整額△11,208千円には、報告セグメントに配分していない全社費用△11,190千円、その他の調整額△17千円を含んでおります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	ITソリューション事業	ITサービス事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	597,522	101,263	698,785	—	698,785
セグメント間の内部売上高 又は振替高	21,942	—	21,942	△21,942	—
計	619,464	101,263	720,727	△21,942	698,785
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△62,781	6,123	△56,658	△11,827	△68,485

(注) セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△11,827千円には、報告セグメントに配分していない全社費用△11,920千円、その他の調整額93千円を含んでおります。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。